

住民参加と意見反映のための事業について

1. 実施概要

(1) 目的

(仮称) 墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の策定にあたり、多様な区民や障害当事者等から意見を収集し、基本構想等の方向性や事業内容の検討、バリアフリー化の事業を行っていくための基礎資料とするために実施します。

(2) 実施内容

住民参加と意見反映のため、以下の3点の取組を行います。

計画等	対象者	実施内容
①区民アンケート調査	18歳以上の区民2,000名	<ul style="list-style-type: none">・区民のバリアフリーに関する実態や関心、意向を把握・区内の施設に関する評価を収集することで、地区別の評価に活用
②まち歩き点検	区民、関係団体、協議会関係者 30名程度	<ul style="list-style-type: none">・実際に現地のまち歩きを行い、地区の課題や特徴を発見・まち歩き後に意見交換会を実施し、気づいたことや課題を共有、意見交換・今後の事業計画の立案や、基本構想の内容の充実に役立てる
③関係団体ヒアリング	区内で障害者、高齢者等の支援や連携の取組を行っている団体	<ul style="list-style-type: none">・団体の現状や課題の確認・今後のバリアフリーの取組の意向、区との連携方法等を把握

2. 各事業の内容

(1) 区民アンケート調査

①概要

目的	広く区民のバリアフリーに関する実態や関心、意向を把握・分析し、基本構想等の策定及び今後のバリアフリー施策の展開の基礎資料とするために実施
実施時期	令和6年8月～10月頃
調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の墨田区民2,000件
調査方法	郵送配布、郵送回収 インターネット回答を併用
主な設問	I 回答者属性 II 外出頻度・手段 III 施設の評価 IV 心のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて V 区が行うバリアフリーの取組について VI その他

②設問項目案

広く区民のバリアフリーに関する実態や関心、意向を把握するため、設問項目を以下の6つに分け、設問を構成しました。設問案は以下のとおりです。

※アンケート調査票は、資料4-2をあわせて参照

項目	設問内容	設問の意図	
I 回答者属性	設問1 性別・年齢	回答者の基本情報を把握 (クロス集計に利用)	
	設問2 お住まいの地域		
	設問3 自身が支援等を必要とする状況の有無		
	設問4 周辺で支援等を必要とする状況の有無		
	設問5 外出する頻度		
II 各箇所の利用	歩道等	設問6 課題や気になる箇所	各施設に対する評価や課題を把握し、地区別の評価や分野別の方針の検討、事業の検討に利用
		設問7(5) 駅周辺の歩道等の課題や気になる箇所	
	駅	設問7 最もよく利用する駅	
		(1) 出入口等に対する評価	
		(2) 案内標識に対する評価	
		(3) 設備に対する評価	
	バス	(4) 課題や気になる箇所	
		設問8 最もよく利用する路線バス	
		(1) 停留所、車内等に対する評価	
		(2) 行先案内等に対する評価	
		(3) 車内で課題や気になる箇所	
		(4) バス停で課題や気になる箇所	

項目	設問内容		設問の意図	
	タクシー	設問9 利用頻度 (1) 利用しやすさに対する評価		
		区立公園		設問10 利用頻度 (1) 利用しやすさに対する評価 (2) 課題や気になる箇所
	公共施設			設問11 よく利用する公共施設 (1) 施設に対する評価 (2) 課題や気になる箇所
				設問12 「不当な差別的取り扱いの禁止」という言葉の認知度
	設問13 「合理的配慮の提供」という言葉の認知度			
	設問14 「心のバリアフリー」という言葉の認知度			
Ⅲ 関連法と心のバリアフリー	設問15 困っている方に対する支援の経験	心のバリアフリーの実態、区民の実施状況を把握し、教育啓発の取組内容や事業の検討に利用		
	設問16 声かけや手助けをためらった理由			
	設問17 心のバリアフリーの理解を深めるために必要だと思う取組			
Ⅳ 区が行うバリアフリーの取組	設問18 重点的にバリアフリー化すべき施設	区民のバリアフリーに関する意向を把握し、重点的に行うべき施策や事業の検討に利用		
	設問19 区が行うべき役割			
	設問20 自由意見	各設問から得られない意見、視点を収集		

(2) まち歩き点検

①実施概要

目的	障害当事者等と実際に現地を確認することで、地区の課題や特徴を見つけ出し、事業計画の立案や基本構想のスパイラルアップを目的として実施
実施時期	令和6年10月～11月頃
実施エリア	地区別の評価結果を踏まえ、重点整備地区候補を対象に2地区
対象	区民、障害当事者・関係団体・協議会関係者、施設設置管理者、区関係課などを想定 30名程度
実施方法	<ul style="list-style-type: none">・あらかじめ地区、点検ルートを設定し、ルートに沿って事務局が説明しながらまち歩きを実施・参加者はルート上で気づいた点や評価を適宜用紙に記入・会議室に移動し、まち歩きで気づいた点を共有、意見交換・施設設置管理者等を交えてまち歩き点検・意見交換することで、早期に具体的な対応の検討や改善につなげることが期待される
プログラム	全体：2時間程度 当日の主旨・スケジュール等の説明（10分） まち歩き点検（50分） 意見交換（30分）
点検箇所・ポイント	次頁に示す点検ポイントを設定し、なるべく複数の分野・ポイントを確認できる点検ルートを設定

【実施イメージ】



まち歩き点検



意見交換

②点検ポイントの例

箇所		ポイント
公共交通	駅構内	<ul style="list-style-type: none"> ・改札口の通行のしやすさ（幅広改札） ・券売機の使いやすさ（点字板、車いす用の開けこみ） ・ホームでの移動のしやすさ（ホームドア、点字ブロック） ・バリアフリートイレの利用のしやすさ（音声・点字案内、ベビーチェア等） ・車両の乗り降りのしやすさ（ホームと電車間の隙間） ・案内表示のわかりやすさ（音声案内、ピクトグラム）
	バス	<ul style="list-style-type: none"> ・停留所での案内表示等、情報の得やすさ（バスの接近情報、） ・停留所の利用しやすさ（上屋、ベンチ） ・車両への乗り降りのしやすさ（ノンステップバス、スロープ）
道路		<ul style="list-style-type: none"> ・幅員や段差など歩道の通行のしやすさ ・視覚障害者誘導ブロック、自転車ナビラインの設置状況 ・案内表示のわかりやすさ
建築物		<ul style="list-style-type: none"> ・出入口の通行のしやすさ（幅員、点字ブロック） ・エレベーターの移動のしやすさ（音声アナウンス、点字案内） ・階段（手すり、スロープ、階段昇降機） ・案内表示のわかりやすさ（ピクトグラム） ・バリアフリートイレの利用しやすさ（音声・点字案内、ベビーチェア等） ・障害者等用駐車区画の利用しやすさ（幅員、案内表示）
公園		<ul style="list-style-type: none"> ・出入口の通行のしやすさ（幅員、点字ブロック） ・園路の通行のしやすさ（幅員、点字ブロック） ・案内表示のわかりやすさ（ピクトグラム） ・バリアフリートイレの利用しやすさ（音声・点字案内、ベビーチェア等）
駐車場		<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリートイレの利用しやすさ（音声・点字案内、ベビーチェア等） ・障害者等用駐車区画の利用しやすさ（幅員、案内表示）
交通安全		<ul style="list-style-type: none"> ・音響式信号機の設置状況および稼働状況 ・エスコートゾーンの設置状況 ・路上駐輪・駐車、看板などの障害物の有無
心のバリアフリー		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の受付等の相談窓口・施設・設備利用時の人的支援の有無 ・一般利用者の支援の有無

(3) 関係団体ヒアリング

目的	バリアフリーに関係する団体に対し、現状や課題、取組の意向、区との連携方法等を把握することを目的に実施
実施時期	令和6年10~11月頃
調査対象	区内で障害者や高齢者など、バリアフリーを必要とする当事者の支援や連携した取組を行っている団体等 【現時点の想定】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区社会福祉協議会 ・ 墨田区障害者団体連合会 ・ 墨田区老人クラブ連合会 ・ 墨田区観光協会 ・ 墨田区商店街連合会 ・ 子育て関係施設等
調査方法	対面またはオンラインによるヒアリング
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の活動、利用者の支援状況 ・ 運営にあたっての課題 ・ 利用者からの要望、地域の課題など ・ 区への要望、バリアフリー関連して連携を期待する事項 など